

平成28年1月9日  
原子力安全対策室

北朝鮮核実験関連 放射能調査結果について  
(第3報 1月9日10:00発表)

北朝鮮核実験に関連し、石川県では1月6日から環境放射線モニタリングを強化しています。

1月9日8時までの放射線量については、異常値は認められていません。  
また、昨日採取した飲料水（原水）、土壌の測定についても、異常値は認められていません。（別紙参照）

詳細は原子力安全対策室ホームページ(<http://atom.pref.ishikawa.lg.jp/>)からも確認できます。

連絡先
石川県危機管理監室
原子力安全対策室
外線直通 076-225-1465
県庁内線 4310

## 石川県内放射線量の監視結果

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)

地点		平成28年1月9日 8時現在の値	【核実験前～】 平成28年1月6日9時～9日7時		【過去の測定範囲】 平成24年度から平成26年度 (網掛け部分は、25～26年度)			
			平均値	最大	平均値	最大	最小	
観測局	志賀町	大福寺局	0.042	0.046	0.076	0.044	0.105	0.032
		大西局	0.044	0.046	0.060	0.045	0.109	0.033
		風無局	0.047	0.049	0.063	0.049	0.098	0.040
		熊野局	0.046	0.048	0.064	0.048	0.108	0.035
		福浦局	0.042	0.044	0.061	0.041	0.102	0.033
		直海局	0.050	0.051	0.066	0.053	0.113	0.038
		五里峠局	0.057	0.057	0.071	0.056	0.104	0.040
		赤住局	0.050	0.051	0.067	0.049	0.092	0.041
		志賀局	0.051	0.050	0.071	0.049	0.127	0.033
	七尾市	西岸局	0.041	0.042	0.056	0.042	0.098	0.028
		能登島局	0.049	0.049	0.068	0.048	0.113	0.035
		土川局	0.044	0.045	0.066	0.043	0.103	0.030
		笠師保局	0.041	0.042	0.063	0.042	0.106	0.027
		大津局	0.045	0.045	0.059	0.045	0.096	0.032
		田鶴浜局	0.050	0.050	0.071	0.049	0.114	0.034
		東湊局	0.048	0.050	0.065	0.049	0.102	0.035
	中能登町	末坂局	0.052	0.055	0.077	0.053	0.104	0.038
		能登部局	0.059	0.060	0.079	0.058	0.109	0.041
	羽咋市	一ノ宮局	0.053	0.049	0.068	0.047	0.127	0.031
		余喜小学校	0.064	0.065	0.089	0.066	0.125	0.048
	輪島市	門前局	0.041	0.045	0.085	0.043	0.118	0.034
		本郷局	0.039	0.043	0.064	0.041	0.105	0.027
		能登空港	0.028	0.033	0.055	0.031	0.094	0.018
	穴水町	大町局	0.040	0.042	0.051	0.041	0.092	0.029
	宝達志水町	志雄局	0.048	0.053	0.090	0.048	0.110	0.031
		押水局	0.060	0.064	0.101	0.059	0.130	0.034
	津幡町	河北地域センター	0.065	0.065	0.086	0.062	0.133	0.044
	金沢市	保健環境センター	0.053	0.053	0.068	0.050	0.105	0.036
	能美市	辰口局	0.057	0.053	0.070	0.047	0.095	0.036
	小松市	さわ池ふれあいパーク	0.055	0.056	0.077	0.054	0.153	0.039

(注1) 県ホームページでは放射線量の監視結果は $\text{nGy/h}$ で表示されているが、原子力規制委員会において、 $1\ \mu\text{Gy/h} = 1\ \mu\text{Sv/h}$ と換算し $\mu\text{Sv/h}$ で公表されたことから、県でも単位を併せて $\mu\text{Sv/h}$ で公表することに変更。

(注2) 毎正時の10分値を記載。

## 環境試料(飲料水、土壌)の測定結果(人工放射性核種)

調査項目	飲料水(原水) (ベクレル <sup>*1</sup> /kg)						土壌(表層)または雪(積雪) (ベクレル/kg)				
	輪島市	七尾市	金沢市		白山市	加賀市	輪島市	七尾市	金沢市	白山市	小松市
採取日	輪島市 浄水場 (河原田川)	河内浄水場 (熊木川)	犀川浄水場 (内川ダム)	末浄水場 (犀川ダム)	鶴来浄水場 (手取川ダム)	山中浄水場 (九谷ダム)	能登北部 保健福祉 センター	能登中部 保健福祉 センター	末浄水場	松任 中学校	南加賀 保健福祉 センター
平成28年1月6日	検出なし <sup>*2</sup>	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 7.7	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 14	検出なし	検出なし
平成28年1月7日	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 5.0	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 11	検出なし	検出なし
平成28年1月8日	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 2.3	検出なし	セシウム137 <sup>*3</sup> 12	検出なし	検出なし

(コメント)

\*1) ベクレル:放射能の強さを表す単位であり、1秒間に原子核1個が放射線を放出して崩壊するときの放射能の強さを1ベクレルという。

\*2) 「検出なし」は検出下限値未満であることを示す。例として、ヨウ素131、セシウム137の検出下限値を示す。

例: 飲料水(原水) ヨウ素131:約0.2ベクレル/kg、セシウム137:約0.2ベクレル/kg 土壌 ヨウ素131:約2ベクレル/kg、セシウム137:約2ベクレル/kg

\*3) 極めて微量のセシウム137が検出されましたが、県内の水準点(末浄水場)の平常値の範囲内(18~38ベクレル/kg(H8~H26調査))であり、他の人工放射性核種も検出されていないことから、今回の核実験の影響によるものではないと考えております。

セシウム137は、半減期<sup>\*4</sup>が30年程度の人工放射性核種です。核実験の影響がある場合には、セシウム137のほか、半減期が短いヨウ素131(8日程度)などの人工放射性核種が検出されますが、今回はこれらの核種が検出されておられません。したがって、セシウム137については、今回の核実験によるものではなく、1950-60年代に行われた核実験やチェルノブイリ原発事故等の影響によるものと考えております。

\*4) 半減期:放射性物質の量が半分になるまでの期間。